

## 境町長田小学校「アルゼンチンの日の集い」開催

宍戸和郎

2023年11月27日（月）、茨城県境町を訪れました。朝方の薄曇りは昼にかけて快晴となり、爽やかな一日となりました。境町の長田小学校は、アルゼンチンと長い友好の歴史があり、「アルゼンチンの日の集い」と題する在日アルゼンチン大使館との交流イベントも今年は数えて34回目を迎えました。特に、今年は交流90周年という記念の年です。

当協会からは、吉村常務理事以下4名が招かれました。

朝9時過ぎ、駐日アルゼンチン大使 エドゥアルド・テンポーネ閣下が大使館関係者と共に、長田小学校にご到着。全校児童と教員・PTA、橋本町長ら関係者、倉持町議会議長ら来賓が総出でお出迎えしました。

まずは長田小学校の正門横で「友好90周年記念碑」の除幕式が挙行されました。



（左から）松田校長、忍田教育長、倉持町議会議長、テンポーネ大使、橋本町長、（交流功労者）野本氏、（同）野村氏、（同）田中氏

引き続き、学校体育館に場所を移し、「アルゼンチンの日の集い」のプログラムがスタート。これまでアルゼンチンとの交流に功労のあった関係各位への感謝状贈呈、交流の歴史紹介、児童たちの歌やブラスバンド演奏披露、学校と大使館のプレゼント交換と続き、最後にテンポーネ大使からご挨拶を賜って終了しました。



当協会にも感謝状を頂きました



児童たちによる「交流の歴史紹介」は、映像や寸劇を交えて立体的に展開され、大使を始め出席者に大いに受けました。また、歌とブラスバンドではフォルクローレの名曲「花祭り」と長田小学校校歌が披露され、「花祭り」はスペイン語での歌唱でした。



お昼には、児童代表を交えて給食を頂きました。各テーブルで話しに花が咲き、児童たちの日ごろの学校生活ぶりを垣間見ることができました。来年には、コロナ禍で中断されていた児童のアルゼンチン訪問も再開されると聞いています。



アルゼンチンとの交流記録の展示

小学校を後にされた大使一行が「モンテネグロ会館」を訪問されるということで、当協会もご一緒しました。旧モンテネグロ会館は老朽化により、現在はギャラリー兼喫茶店に改築されています※。この日は定休日でしたが、橋本町長のご配慮で貸切りとなり、地元のさし茶などを堪能しました。



現在のモンテネグロ会館

このように、ひとつの小学校が特定の外国とかくも長い交流活動を続けている例は、非常に珍しいのではないのでしょうか。関係者のご努力に改めて敬意を表する次第です。

(ししど かずろう：当協会業務執行理事)

※ 建築家隈研吾氏が設計を担当し、2020年9月オープン。旧モンテネグロ会館の古材、家具等が再利用されています。